

平成19年12月議会 一般質問

1、 ISO14001取得後の運用について

- ① 現在の運用状況はどうなっているのか。
- ② 適用範囲外の公共施設の取り組みはどうなっているのか。
- ③ 費用対効果をどう考え、運用しているのか。
- ④ 自己宣言による運用についてどう考えているのか。
- ⑤ 環境に対する啓発をどのように住民に発信しているのか。

2、 福祉課などの受付カウンターについて

- ① 福祉課、健康推進課の受付カウンターをもっと行政に住民が相談しやすい、プライバシーに配慮した形のものにならないのか。

環境マネジメントISO14001を、平成15年2月26日、県内の市町村では、最初に取得されましたが、ISO14001を認証取得していた某菓子メーカーが、消費期限切れの原材料を使用していたなどの認証取得後の取り組み状況について、私自身不透明な部分を感じております。

そこで、斑鳩町は、認証取得後まもなく5年を経過しますが、現在どのように運用をされているのか、お聞きしたい。

(住民生活部長) 当町のシステムでは、四半期ごとに、目的、目標の達成状況、達成見通しについて点検を行い、目標達成が困難なもの、達成スケジュールに一定のおくれが生じているものにつきましては、起動を修正するための是正処置を行っております。

各部署におきますシステムの運用が正しく行なわれているかを確認する職員同士で行なう内部環境監査の実施につきましても、少なくとも年1回は実施をしており、審査登録機関により外部審査につきましても、年1回受審しているところであります。

このように、適応範囲であります役場庁舎及び保健センターの職員が全員参画し、継続してシステムを運用してきているところであります。

お答えによりますと、適用範囲は、役場庁舎と保健センターということになっていますが、他の部署はどのようになっているのか、伺う。

(住民生活部長) 当町では、このようなシステムは、行政運営でも十分活用ができるシス

テムであると考えております。

そして、最終的には自主運営もあわせると、すべての公共施設でシステム運用が図れることを目標としております。

あくまで、ISOの登録は、役場庁舎と保健センターで、他の施設は自主運用していくことは分かりました。

では、ISOの運用には、相当のランニングコストがかかるはずですが。

実は、私が経営している会社でも、ISO9001を取得し、同じ問題を抱えているところですが。

そこで、斑鳩町は、費用対効果の面でどのように取り組んでいるのか伺う。

(住民生活部長) 当町がISO14001を取得するために平成13年度から平成18年度までに要した事業費は、総額で1,000万円でございます。

次に、これらのコストに対しましての効果ですが、当町では平成14年10月からシステムを運用しておりまして、その結果、平成14年度から平成18年度までの間で、約1,330万円の経費が節約できております。

これまで、ISO14001に係ります事業費が約1,000万円でありますので、ISO運用にかかった費用よりもシステム運用により節約出来た金額の方が上回っておりますので、オフィス活動だけを捉えましても、システム運用の効果はあらわれております。

このようなことから、目に見えない部分での効果もあわせると、費用対効果は非常に大きいものがあるのではないかと考えております。

今のお答えによると、ISOシステムの運用により、ISOにかかる費用よりも節約出来た額が上回っており、ほっとしました。

しかし、最近、財政難から、認証取得を返上して、自己宣言により環境マネジメントシステムを運用されている自治体が増えていると聞いております。

来年、斑鳩町は、登録期間満了の年度であると思いますが、ISO継続について、今現在どのように考えているのか伺う。

(住民生活部長) 質問者が申されますように、認証取得しないで最初から自己宣言によりシステムを運用されている自治体もあるようには聞いております。

当町といたしましても、役場庁舎及び保険センター以外の公共施設につきましては、外部審査を受審しない、いわゆる自己宣言によります運用の方針を掲げております。

そういったことから、役場庁舎及び保険センターにつきましては、常に他の公共施設の模範的な立場でなければならないと考えており、平成20年度に行なわれます更新審査も受審をしてみたいと、考えているところであります。

なるほど、町としては、これ以上国際規格の適用範囲は拡大しないが、現在の登録はこれからも続けていくということになりますが、しかし、役場だけが国際規格に基づいて環境に配慮しても、住民の方々も行政と一体となって取り組まなければ、なかなか成果は上がらないと思います。

そういったことから、町として、どのようにISO14001の理念を住民の方や事業者の方に発信していくのか、伺う。

(住民生活部長) 当町では、住民の方にも、ISOの基本理念に基づき取り組みを進め、継続的な改善をご家庭にも行なっていたらこうということで、平成15年度に家庭版ISO「エコいかるがファミリー」を町独自で構築し、120組のご家庭でエコ生活に心がけていただいたところでございます。

また、平成16年度からは、家庭版ISOに加え、子どもたちが家庭ではなく地域や学校でも楽しみながら継続してエコ生活が出来るように「エコいかるがキッズ」を構築し、現在325組のご家庭や児童が「エコいかるがファミリー」や「エコいかるがキッズ」に登録をいただいているところであります。

今後とも、ISO14001の認証取得が大変意義のあるものになるように努力していただくことをお願いいたしまして、次の質問に移ります。

福祉課などの受付カウンターについてであります。

現在のままのカウンターでは、相談窓口の利用の際に、相談者自身のプライバシーについても他の方に聞こえてしまうので、もっとプライバシーに配慮した形のものにならないのか、伺う。

(住民生活部長) 窓口の受付カウンターは、通常の高さとローカウンターを設置しておりますが、お年寄り等のご利用者が多くあり、どうしてもローカウンターのご利用が増えております。

ご指摘のとおり、2人が座れますので、横に並べられ同時に利用されることがあり、横の方の話が聞こえると思われま。

住民の方が、窓口に来られた際には、申請手続き等はカウンターで行なっていただき、ご相談の場合は、ご本人に確認をして相談室や事務室内の会議机を利用して相談に当たっております。

今後につきましても、プライバシーに配慮した窓口対応をしてみたいと考えております。

と、なってくると、住民の方が込み入った話がしたい時、事前に予約を入れて役場を訪

れる場合には、プライバシーに配慮した対応はしていただけるのですか。

（住民生活部長）電話等で事前にお話をいただければ、出来る限りプライバシーが保てる場所を確保いたしまして相談に対応してまいりたいと、このように考えております。

今後とも、プライバシーに配慮してもらえるようお願いいたしまして、私の一般質問を終わります。